

円滑な交通を確保し、安全対策を推進することにより、死傷事故の減少を目指す

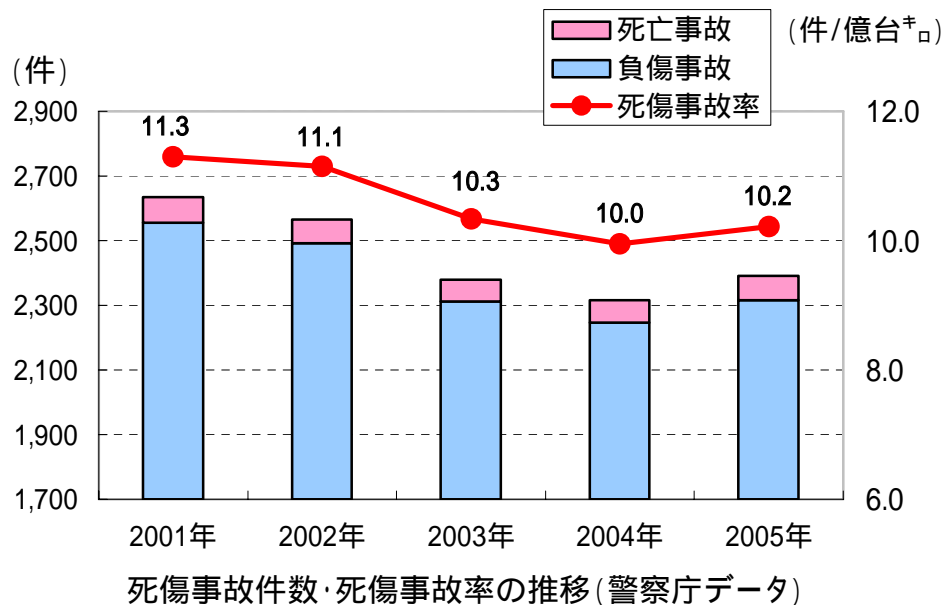
死傷事故率 〔単位：件 / 億台キロ〕	実績値 2004 年度	10.0
	実績値 2005 年度	10.2
走行車両 1 億台キロあたりの死傷事故件数	次年度目標値 2006 年度	前年度を下回るよう努め、定期的にチェック

(1) 達成度報告 (昨年度の取り組みと成果)

湿潤時の事故防止対策として、約 220km・車線の高機能舗装の整備、重大事故の防止対策として、約 18km の強化型中分防護柵の整備、暫定二車線区間の車線逸脱防止対策として、約 13km の凹凸型路面標示工を実施し、死傷事故率は昨年比に比べ 10.0 件/億台^{キロ}、10.2 件/億台^{キロ}(+2%)と、ほぼ同程度を維持。

(参考)

・死傷事故率 +0.2 件/億台^{キロ}は、死傷事故発生件数でみた場合、75 件の増加
2004 年:2,316 件 2005 年:2,391 件(対前年度比 +75 件)



(2) 業績計画 (今後の取り組みと期待される成果)

今後とも高機能舗装を始めとする効果的な事故対策を講じ、死傷事故率の減少を図る。



写真・高機能舗装の施工事例



図・高機能舗装の仕組み